

アマモ

Zostera marina L.
アマモ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

埋め立てなどの海岸の改修工事や海水の汚濁により減少している。

分 布

北海道～九州に分布。県内ではおおい町、美浜町、敦賀市での記録がある。

種の特徴

海底の砂泥に生える多年草。根茎は径2～5mmで横に這い、先端からは葉と花序をつける枝を出し、節からは根と葉だけをつける枝を出す。葉は長さ50～100cm、幅3～7mmの扁平なりボン状。花期は4～5月。水面近くに多数の花序をつける。

生育を脅かす要因

海岸開発、改修工事、海水の汚濁。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○		○											

コバノヒルムシロ

Potamogeton cristatus Regel et Maack
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は1箇所のみで、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるが、情報が不足している。

分 布

本州に分布する。県内では三方町で確認されている。

種の特徴

湿地や用水路に生育する多年生草本で、小型の浮葉植物。浮水葉は長楕円形で基部はくさび形。沈水葉は互生し、狭線形。地下茎は横に這い、一節おきに水中茎を出す。花期は5～9月、穂状花序をつける。果実は円形で背面にとさか状の突起がある。

生育を脅かす要因

池沼開発、河川改修工事が生育地、個体数とも減少させている。また自然遷移も進んでいる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○																

コバイケイソウ

Veratrum stamineum Maxim.
シュロソウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地が限られ、個体数もそれほど多くない。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越、池田町、南越前町に分布する。

種の特徴

亜高山帯の湿った草地に生える多年生草本。茎は高さ0.5～1m。葉は互生し、広楕円形、長さ10～20cm、葉脈が目立つ。花期は6～8月。茎の先に円錐花序をつける。花は白色、花被片は6個。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献 門田裕一ほか（2013）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○						○	○	